

第5回防府競輪活性化委員会会議録（概要）

日時	令和3年2月16日（火）午後1時30分から午後2時00分
場所	防府競輪場 サイクルシアター3階
出席者	<p>【委員】            賀屋委員長、大和副委員長、羽嶋委員、窪川委員、島田委員、友景委員</p> <p>&lt;欠席委員&gt;            林委員、大久保委員、港委員、石田委員、吉本委員</p> <p>【事務局】            熊野産業振興部長、赤松産業振興部参与、岡田競輪局長、            藤田競輪局長補佐、中司競輪局業務係長</p>
傍聴者	3名
議事	<p>議題1 パブリックコメントの実施結果について</p> <p>議題2 防府競輪活性化計画（最終案）について</p>

1. 開会

- ・委員総数11名のところ、出席委員が6名で過半数の出席があるので会議が成立していることの報告。
- ・会議は公開とし、会議録（概要）を公開することの説明。
- ・賀屋委員長による挨拶。 <省略>

2. 議事 <議長：賀屋委員長>

議題1：パブリックコメントの実施結果について

事務局から資料1により説明。<省略>

**委員からの意見等**

<特になし>

議題2：防府競輪活性化計画（最終案）について

第4回で諮った防府競輪活性化計画（案）から防府競輪活性化計画（最終案）への変更点について、資料3及び資料4により事務局から説明。<省略>

## 委員からの質問

<特になし>

【賀屋委員長】議題の内容は全て終了した。ここで、委員の皆さんに諮りしたいことがある。資料5については、当委員会のこれまでの検討状況をまとめた概要と委員の名簿が記載されているが、皆さんの了解が得られたら、計画の最後に掲載したいと思うがいかがか。

<異議は特になし>

【賀屋委員長】特に異議がないようなので、そのようにさせていただきたい。それから、今後、字句等の軽微な修正箇所があった場合の対応については、委員長に一任させていただきたいと思うがよろしいか。

<異議は特になし>

【賀屋委員長】ありがとうございました。皆さんの御協力で議事は終了した。今後は活性化計画に基づいた施設整備などの新しいステージに立つわけであるが、ここで、委員の皆様から、今後の整備のあり方や、防府競輪に対する御意見、御感想等を最後にお聞かせいただいてこの会を納めたいと思う。

【A委員】防府競輪活性化計画の策定が終わったということでひと安心だと思う。これから計画に基づいて施設が整備されるものと思うが、来週ぐらいには予算の発表が出来るぐらいではないかと思われる。その中で競輪に関することもあろうかと思うが、そのあたりを含めてこれからもよろしくお願ひしたい。

【B委員】防府競輪活性化計画が今後整備される施設の設計の条件になってくると思うが、これまで当委員会で協議した熱い想いを伝えてもらいたい。

【C委員】やっぱりまだ競輪というとギャンブルというイメージがあるので、これをスタートとして施設整備をされると思うが、整備が終わったら終わりではなくて、そこからそれを活用してどういった形で展開していくかが一番重要だと思う。

県もこれまで「サイクル県やまぐち」という形でやってきたが、新たに来年度からは「スポーツツーリズム」ということで一歩進めた形で発展的にやっていこうと考えている。スポーツツーリズムのためには拠点が必要

であり、また、まちづくりのためには拠点が必要なので、もう少し先になると思うが、整備後には県としてもできることはやっていきたいと思うので、ソフトの施策については手を携えてやっていくということで、今後協議いただければ一緒に考えていきたいと思っている。

**【D委員】** 活性化に向けた方向性と取組というところで、「防府らしさ」を付け加えてもらいたい。

これから設計とかコンペに入っていくことになると思うが、これまでもこの会に出席するたびに「統一感」という話をさせてもらったが、コンベンション協会としては、毛利邸で日本庭園ガイド育成講座というのをずっとやってきて、毛利邸の素晴らしさを発信していこうということになっており、また来年度4月からは山頭火記念館の指定管理を受けていろいろなことをさせてもらうこともあり、来年度コンベンション協会は「大正ロマン」を打ち出していくということになった。どんどん進めていきたいと思っており、山頭火記念館の施設を管理する上で市長からもいろいろと指導をいただいているが、大正時代に特化したまちづくりを進めていきたいと考えている。大正ロマンが感じられるようなそんな統一感を広げていき、まずは天満宮周辺、毛利邸周辺から発信していき、先ではアーケードや駅周辺まで広げていきたいと考えている。3年後には建つようなのでちょうど良い時期だと思うので、できれば「大正ロマンを感じられるような」という一言を設計の仕様の中に入れていただければと思っている。先日他の人から聞いたが、「防府駅は新しくなったが、でもそれだけ」と。「競輪場も新しくなったがでもそれだけ」とならないようにお願いしたい。

**【E委員】** 来年度は西日本で唯一の33バンクである防府競輪場で、第10回のオムニウム大会が開催される予定。33バンクをフルに活用して、山口で自転車競技、特にトラック競技は防府競輪場だということで、県外から来ていただいて、防府の活性化に繋げ、またジュニアを育成して地元から素晴らしい選手が出てくるように頑張っていきたい。

**【事務局】** 事務局を代表して、去年の春から皆様にはいろいろとお願いして1年間御礼申し上げる。至らない部分もあったが皆様のお陰でここまで来ることができた。あとは、ソフトもハードも含めて、新しいものができたがそれだけにならないように、気を引き締めて防府のためになるよう頑張っていきたい。

**【賀屋委員長】** 以上をもって議事を終了したい。5回にわたって開催してきたが、委員の皆様には積極的に発言していただき、事務局は競輪の活性化に向けて熱

心に計画を練って来られた。あらためて敬意を表したいと思う。いろいろな意見はあるが、計画ができただけ、施設ができただけではなく、ハード、ソフト、いろんな運営方法等の工夫が必要であり、競輪という事業なので収益をあげることが大前提であると思うが、市民に愛される競輪場に再生していただきたい。長い間ありがとうございました。

### 3 その他

- ・ 防府競輪活性化計画の策定にかかる委員会の開催は今回が最後になる。
- ・ これから市役所内の策定手続を経て3月中に計画を決定する予定。
- ・ 当委員会の会議録の確認を今後出席委員にお願いすることとなる。

#### 【熊野産業振興部長】 御礼の言葉

賀屋委員長、大和副委員長をはじめ各委員の皆様方には、ご多忙にもかかわらず本委員会に参画いただき心から感謝申し上げます。本委員会は昨年の6月から計5回にわたり委員の皆様から貴重なご意見を頂戴して、防府競輪活性化計画を策定することができました。お陰様で、今後の防府競輪を活性化させる施策を示した素晴らしい計画が策定できたと感じている。現在、コロナ禍ではあるが防府競輪の売上げは伸びており、施設整備のための基金の積立てや一般会計への繰出しが実行できるなど安定した経営ができている。また地元の競輪選手は若手・ベテラン等が活躍しており、競輪事業の活性化に追い風となっている。このような状況のもと防府競輪活性化計画に従い、施設整備や活性化策を進めていき、防府競輪がスポーツの振興や観光の振興に寄与し、市民の皆様親しんでいただけるような競輪場となるよう努めてまいりたいと思う。委員の皆様には、今後とも防府競輪を御支援賜るようお願いして御礼の挨拶としたい。

閉会